

## 活躍する同窓生の姿は刺激になる。 愛着のある京大に貢献したい。

もともと独立志向があり、京大在学中からいざれ起業・開業しようと考えていました。不動産鑑定士をめざしたのは、これから社会で不動産が成長することの予感に加え、職業専門家として生きようと思ったからです。私は工学部交通土木工学科(現 地球工学科)でしたので、当時はゼネコンや公務員などの土木系専門職に就く同級生がほとんどでした。大学での専門とまったく異なる方向に進んだこともあります。卒業後15年くらいは同窓会活動から遠のいていました。でも、今では、多くの人たちと昔を懐かしむ大きな同窓会や、仕事に結びつくような同窓の集まりなどに積極的に参加しています。京大への寄付のことは、基金室の方々の活動で知りました。チラシや冊子だけのお知らせでなく、顔をあわせて活動の目的や状況を伺うと「寄付しよう」という思いが強くなります。私ももう同窓会名簿では上から数えた方が早い年齢になりましたが、周囲にもこの年代になって寄付をはじめた人たちがいます。社会貢献にもなりますし、少しでも長く後輩たちの役に立ちたいと、愛着のある京大に継続して寄付することを決めました。



株式会社エル・シー・アール  
国土利用研究所  
代表取締役

九本 博文 氏

KUMOTO HIROBUMI

### 株式会社エル・シー・アール国土利用研究所

証券化評価、財務・税務評価、金融機関向け資産評価などを行う不動産鑑定会社。国交省等の事業実績を基にした自社による売上比較では、2023年度は東京都知事登録業者として売上No.1の実績を誇る。

1988年に京都大学工学部交通土木工学科卒業。1989年に不動産鑑定士2次試験合格。東京法経学院不動産鑑定士2次試験講師を務める傍ら、3次試験を経て1991年に資格取得。1992年に不動産鑑定士登録し、すぐに開業した。